

# 福島南ロータリークラブ会報



インスピレーションになろう

国際ロータリー会長 BARRY RASSIN (パリー・ラシン)

国際ロータリー第2530地区ガバナー 平井 義郎

福島南ロータリークラブ 会長 吉田 和義 幹事 一條 浩孝  
目標「例会を楽しもう」

会員/72名 出席/51名 出席率/70.83%

メークアップ/21名 修正/72名 修正後率/100%

## 会長挨拶 吉田 和義 会長



皆さん昨夜の NHK の国際ニュースでパキスタンでのポリオ撲滅活動について詳細にレポートがありました。アフガニスタン国境沿いの山間部にはポリオワクチン投与を拒否する家族が約10万世帯、未だにポリオ撲滅は困難な状況にあるという報告でした。この状況を放置しておけば今後10年間でポリオ感染者が約10万人位になる恐れがあるとのことでした。パキスタン政府も深刻に捉えており、全力でワクチン投与を続けるという風に政府高官は明言しておりました。WHO が全面的に支援とあり、残念ながらロータリーの名前もロゴマークもニュース映像には写っておりませんでした。

ワクチン投与を拒否する家族やワクチン投与する女性に武装警察官がガードする映像は現地の厳しい状況を物語っております。先日開催されたIMでの東京麹町ロータリークラブ久保田直前会長の熱い思いが蘇ってきました。今後とも我々ロータリーではポリオ撲滅について、より一層の努力をしていきたい。当クラブもお陰様で地区目標の一人当たり30ドルを超えて松崎財団委員長の尽力もあってクリアファイル販売における寄付金額も同等、約30ドルということでも60ドルを寄付することができました。皆様の協力、本当に感謝申し上げます。

## ガバナーエレクト挨拶

芳賀 裕 ガバナーエレクト 様



次年度ガバナーということで1月に国際協議会にサンディエゴまで行って参りました、先週は来年の地区の委員会の任用になって頂く方々にお集まりをいただきまして、地区チーム研修セミナーを開催いたしました。次年度は大委員長に林さん、そして廣澤さんにお付き頂くと共に大勢の南ロータリークラブの皆さん方に委員に加わっていただきます。そしてまた大橋パストガバナーのご指導頂きながら次年度に復興フォーラムを実施させて頂こうと計画をしております。

次年度のRIのテーマは『ロータリーは世界をつなぐ』というテーマでございます。福島から世界を繋ぐということを発信していきたいと思っております。次年度色々お話しになりますがよろしくお願いいたします。

## ゲストスピーチ 聖光学院高等学校 野球部 斎藤 智也 監督



今私のことをご紹介頂きました高橋勇雄さんは、2001年に初めて本校が甲子園に行けた時のマネージャーの父親でありまして、歴史を飾った生徒の一人でもあります。

優勝が決まって高橋マネージャーがベンチから飛び出してくる時に、千鳥足みたいな感じで真直ぐ歩行出来なく、相当に蛇行しながら歓喜の輪の中に向かって行ったという事を、今でも頭の中にこびり付いています。そのぐらい最初の偉業を成し遂げた時の感動は大きなものがありました。

何を置いてもあの最初の2001年の優勝した瞬間、あれを上回る感動の涙というのはそれ以降も流したことはありません。

2001年に私が監督就任2年目で甲子園に行けたのですが、その大きな要因は何かということを考えていました。

## ロータリーの友読みどころ

クラブ広報・雑誌委員会 河谷 元 委員



私が趣味としています音楽関係の話題が載っております、縦13ページで愛知県豊橋市の市民オペラの記事が載っております。合唱はやれてもオペラとると運営するのも難しいのですが、この団体は4回公演されていると言う事で、オペラに携わっている人間としては非常に心強い成功例でカブげられました。横の21ページに2530地区の平井義郎ガバナーの記事が掲載されております。青少年交換留学生の話題でありますので是非お読みください。

まず挨拶一つを取り上げると挨拶に対するいい加減さが初年度は目に着きました。生徒の動向を私が見て歩く時に、裏と表の二面性をはっきり見て取れました。

それを気にしてたころ2001年の生徒達が自分達で話しをして、とにかく挨拶から変えようという事で実行し、クラスに戻ると相当冷やかされて、クラスに行くのが嫌だったと当時のメンバーは振り返っています。

しかし、それを変えずに挨拶を徹底したら、一般の生徒が野球部と同行しては、付随するように挨拶をする習慣が身についたという事が、私の中でもすごく感動でした。私もその挨拶に対する褒め言葉を受けかけていき、1年位経ったら、ほぼ隔々まで全校生徒が挨拶出来るような学校に変わったのが2001年という記憶があります。

みんな同じように挨拶が出来るようになった事が野球部の功績で、野球以外の部分の所でしっかりした事によって甲子園に行けたと私はそう捉えています。

野球部の練習メニューは時間に関しても内容に関しても他の学校とほとんど一緒だと思います。では、何で差がつくのか？ということ監督就任の時に考えなくては行けなかった訳で、同じ時間と同じ練習メニューではない、別なところの価値を見つけなくては行けないと思い、数多くの勉強をする流れになったわけです。

やはり何のために野球をやって、何のためにチームは勝利を目指すのか？という根源的なところに目を向けていき、心の部分でのチーム作りと美しい感性を持ち合わせた生徒を作りながらチームを作って行けば、もしかしたら勝てるのではないかと、まずはそんな感じでチーム作りをスタートさせました。野球部の生徒によく問いかけるのは、何のために野球をやっているのか？誰のために野球をやっているのか？と言う事を問います。最終的にはチームの為に、チームが本当に信頼を置いてみんなが太い絆で結び合った仲間として、最後は夏の大会勝負しようと、私のゴールはこれだけなのです。



野球はどちらかと言うと静かなスポーツです。ボールが動いている時間は15分も動いてないという調査結果があります。約2時間の中でボールが動いてない時間が1時間45分。その1時間45分の時間の使い方が下手な人は野球やっても絶対勝てないだろうという事は分かって来ました。

例えば、3点取られてしまった、ベンチに戻って監督に怒られそうだな、という事を思う瞬間がある人は、それを思っている時間帯はそれしか思っていないと言う事なのです。時間がもったいないって事になります。終わったことに対する後悔が時間的な支配をその瞬間にしているわけですから。では、今に集中するという事を導き出すにはどうしたらいいのだろうか？となると、過去と未来を打破する事です。それを切る習慣が出来ること今に集中しようとしても自然と今に集中出来ているという事になります。今に集中しなくてはならないと思っているうちは、今に集中して無い訳です。その言葉と戦っていると言う事になります。だから普段の考え方や捉え方の勉強をよく生徒には求めています。

最近流行っています感謝の反対は何なのかということですが、感謝の反対はあたり前だとおっしゃる方が非常に多いです。私もそう思います。あたり前が多いと感謝をすることを忘れるので、あたり前じゃないことを出来るだけ3年間の間に沢山経験させてあげたいと思っております。

たとえば、初めて甲子園出場した年から、二泊三日、金曜日夕方の練習から合宿をし、出来るだけ寝ない様に生徒に促して実施しております。二日間で3~4時間は寝ると思いますが、そこから始まった土曜日と日曜日の練習試合がどれだけ生徒にとってきついか。睡魔との戦い、考える能力も低下しているところで、無意識に反応するということの子供たちには分かって欲しいのです。合宿中に練習試合やると、言い訳して逃げたくなる弱いチームと、何かを得ようとしているチームと特徴が分かります。そこで、一つ自分の中で仕上がった、仕上がっていないという基準にしています。

もう一つこだわっているのは、いかに自然・宇宙・地球。こういう物の存在を生徒達に知らせる。あたり前に生活しているのは無いと言うことを知らせるの一番良いのは、地球や宇宙の話をよくします。

そして生徒一人一人を野地温泉から吾妻運動公園まで歩かせます。合計2.4kmの距離を夜中の2時半スタートで下って行きます。野球では夏の大会への怖さもありますが、それ以前に自分が今野球をやっていることへの本質なんかも自問自答しながら、または自然と対話をするという中で何を学んでくれるのかを楽しみにして私はいつも実行しています。苦しい苦しいこの夏の大会の直前に、生徒は何かをつかみたくて必死だろうなあなんて思いながら、その山を下りを通して勉強しています。

野球は、打った・投げた・走ったですが、人間模様というのは、打った・投げた・走ったではなくて、一人一人の表情・態度これは3年間の歩みであり、チーム一人一人の絆という物が随所に子供たちの顔には表れます。

自分の為にしか野球をやらない、自分さえ良ければ良い。と言う者は私の中では悪だと思っているので、そう言う選手は絶対に試合に使わないというポリシーだけは持っているつもりです。そんな視点で野球をご覧になって頂くときに面白いと思います。

その聖なる1時間45分に映し出されている生徒の顔。この人はどういう歩みをしてきたのか？という事を、顔つきを見た時にこれが有るというチームはみんな持っている可能性があるの、対戦する相手としてはすごく怖い。どんなにちょっと高校野球でプロ級の選手がいたとしても、自分の為にしか野球をやっていないような選手が沢山居るチームは、私は怖いとは思いません。勝負の中で出来れば知らしめなきゃいけないと思いついて来ました。

### — 今後のプログラム —

- ・3月6日(水)ｸﾗﾌﾞ協議会、次年度委員会組織発表
- ・3月13日(水)ガバナー補佐訪問
- ・3月20日(水)休会

### — 2月27日(水)の例会プログラム —

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング
3. 四つのテスト唱和
4. 来訪者紹介と会長挨拶
5. 杉妻小学校読書感想文発表
6. スマイリングBOX報告
7. IM報告
8. 青少年奉仕委員会活動報告
9. 会員スピーチ 橋脇英行会員
10. 各委員会報告
11. 閉会点鐘

### — 地区情報・第一分區・関連情報 —

- ・3月2日(土)~3日(日) RYLA 研修セミナー(赤津華の湯)
- ・3月9日(土) 東北第一分區・第二分區新会員セミナー
- ・3月16日(土)~17日(日) 会長1日研修セミナー

本日のテーブルスピーチテーマ **『初恋の話し』**